

築理会 会報

2015 Autumn vol.56



トピックス・イベント

- * 築理会新体制で始動、皆様方のご支援をよろしくお願い致します。
- * 会報リニューアルされました。
- * 女子部会準備会が作られました。
- * OB・OG と学生との交流懇親会が開催されます (11/22 葛飾キャンパス)。
- * 来年の築理会新年会 (1/20 水) は野田建築会と共催です、多数のご参加をお待ちしております。

表紙写真：変わる神楽坂。左が理窓会倶楽部が入る PORTA 神楽坂。四人は左から副会長三輪富成 (1973 卒)、会長大岩、副会長増村清人 (1981 卒)、副会長近藤剛啓 (1984 卒)、あと二人の副会長乙丸、渡辺は 3p。

CONTENTS

- 2 P 築理会新会長、平成 27 年度総会懇親会開かれる
- 3 P 委員会委員長よりの挨拶、築理会役員と教員との懇親会開かれる、来年の築理会新年会は野田建築会と共催
- 4 P 坂牛研究室紹介
- 5 P 新任教員紹介
ー私たち葛飾キャンパスにいますー
- 6 P 同窓の輪 ー株式会社 日本設計ー
- 7 P 都会を離れて自然に囲まれた生活を enjoy する ー 6 期卒藤森氏邸を訪ねてー
- 8 P 決算報告、築理会からのお知らせ (会費納入のお願い、築理会ホームページの紹介)、インフォメーション、編集後記

築理会新会長

このたび林会長から会長を引き継ぎました1部3期の大岩です。長年、築理会に関わってきましたので、もう先頭にたつことはないと思っていましたが、はからずも推薦を受け、引き受けることになりました。最後のご奉公かと思っています。

築理会の歩み

建築学科も神楽坂から、九段へ、そして葛飾へと移りました。築理会としてのスタートは**昭和46年(1971年)**、この年に最初の「**築理会名簿**」を発行し、卒業生の懇親会を開いています。

その**十二年後、昭和58年(1983年)**に**第1回築理会総会・懇親会**を開き、その後、会報の発行など築理会としての本格的な活動が始まりました。しかし、必ずしも順調な推移というわけではありませんでした。山あり谷ありで、最も活発な時は、会報年4回発行、セミナーも年5回開催していた時もありましたが、ほとんど活動をしない時もありました。それでも名簿の発行だけは、欠かさず続いています。現在、**築理会での会員現住所把握率は73%**(I部に限ると76%)ですが、これは理窓会の56%を大きく超えています。このことは、**築理会活動の長年の積み重ね**かと思えます。

工学部I部建築学科は今年(2015年3月卒)の卒業生は50期生です。II部含め7,300余名の卒業生がいます。そして本学建築学科出身の教授・准教授4名が研究室をもたれ後輩の指導にあたられるまでになりました。

築理会の今後

築理会も石神会長(現理窓会会長)、林会長の時に、理窓会又建築学科との結びつきも強くなりました。**これからも築理会の独自性は保ちつつも、理窓会・建築学科とは繋がり強めていければ**と思います。又、学生の作品集「りぼん」の支援や、学生とOB・OGとの交流会など、**次代を背負う若い世代との連携は、築理会としても積極的に進めていければ**と思っています。

ところで、先日の総会で会則も現状に合わせるように改定し、新しく委員会制度を導入しました。その一つの形として**会報のリニューアル**です。又、**新設した委員会の中に女子部会**というのがあります。これは現在、建築学科女子学生の割合が多い時には3割と聞いています。女性の活躍は社会にとっても、又、築理会としても大いに期待したいところです。

それからもう一つ**運営安定化委員会**、築理会も財政面からみれば、決して安泰ではありません。卒業生は増えていても、会費納入は必ずしも増えてはいません。この問題は、古くて新しい問題で、常に検討されていることですが、今後も一番重要かと思えます。会員の皆様に関心を持たれる築理会を目指しますが、**ぜひ皆様方のご支援も、よろしくお願いいたします**。



(大岩昭之:1968年I部建築学科卒)

平成27年度総会懇親会開かれる

平成27年度の総会懇親会が去る5月16日に神楽坂1号館17階にて開催されました。総会の後、記念講演として(株)富田製作所の富田英雄専務(1981年理工学部機械学科卒)さんによる大口径厚肉鋼管製造にまつわるご説明を頂き、特にスカイツリーの鉄骨部材の製作等、大変に興味深いお話を頂きました。



引き続き総会講演会の後、場所を理窓会館POLTA6階の理想倶楽部に移して懇

親会が開かれました。現役、OB、先生方を含めて80名ほどの会となり、それぞれの近況や思い出で大変盛り上がりしました。この会は毎年5月に行っておりますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。尚、築理会費未納の方でもご参加できますので女性や初参加の方も気軽にお出かけください。開催日等詳細はホームページや当会報にてお知らせいたします。

(渡辺一男:1972年I部建築学科卒)



委員会 委員長の挨拶

副会長 企画総務委員長 乙丸勝範 (1971年卒)



1971年卒(二見・平野研)委員長の乙丸です。当委員会は、総会・新年会・学科教員との交流会等築理会活動の主要な部分を担当しています。委員は小生を含めて16名で構成され2ヶ月に1回ほど開催し、各行事開催の企画・調整等の事務局活動を行っています。又、行事に付き物の懇親会の段取り・司会等の進行役も担当しているところです。築理会活動が益々活発になるよう努力する所存ですので皆様方のさらなる応援よろしくお祈いします。

副会長 会報委員長 渡辺一男 (1972年卒)



この度、築理会会報の編集委員長を拝命いたしました1972年卒の渡辺です。会報は年に2回、春と秋に出しておりますが、今回から紙面のデザインや配置等を一新しカラー化することになりました。より多くのOB、現役の方々に楽しんで頂けるものを目指して会報委員一同頑張っておりますので今後とも築理会報を宜しくお祈いいたします。

女子部準備会 部会長 稲垣雅子 (1979年卒)



この度、築理会に女子部会を立ち上げることになりました。今年度は女子部会準備会として活動します。建築や仕事上の情報交換は勿論のこと、女性ならではの業界での悩み、その他もろもろ趣味や人生について大いに語り合い、交流できる場をネット上に、またリアルに構築していきたいと思ひます。建築学科OGとして世代を超えて繋がっていきましょう。女子の皆様、同期の方々もぜひ誘い合って女子部会へご参加ください。

築理会役員と教員の懇親会開かれる

2015年9月7日(月)築理会役員と建築学科教員との懇親会がPORTA6階、理窓会倶楽部で開かれました。昨年に続くものですが、今年は築理会側から19名、学科からはI部主任長井先生、II部主任今本先生はじめ11名の先生方の出席がありました。普段は現役教員の先生方と話す機会はありませんが、このような懇親会はいろいろと学科(大学)のお話が聞けるいい機会です。



来年の築理会新年会は野田建築会と共催

2016年1月20日(水)築理会新年会がPORTA神楽坂6階の理窓会倶楽部で開催されます。

今回は初めての野田建築会(理工学部)との共催です。理科大建築学科出身者は工学部・理工学部合わせると1万5千名を超えています。これは建築業界内でも非常に大きな数であり、世間(理科大出身者以外)からみれば、工学部も理工学部も同じ理科大卒と見ています。野田建築会とは一時、名簿を共同発行していた時もありました。諸般の事情で今は、築理会だけの発行になっていますが、今後お互いに協力しあえるところは協力しあい、工学部・理工学部建築学科のさらなる発展に寄与していければと思ひます。皆様の参加をお待ちしています。



いい暮らしを、創る。
住まいのオンリーワングループ

株式会社 長谷工 コーポレーション

代表取締役会長 大栗 育夫

〒105-8507 東京都港区芝二丁目32番1号
TEL: (03) 3456-5451 (代表)
<http://www.haseko.co.jp>



坂牛研究室紹介



坂牛研究室では国際的に活躍する坂牛卓先生（先日 International Architecture Award 2015 を受賞）を筆頭に世界で建築をつくることを意識したプログラムを用意しています。昨年度で言えば、グッゲンハイムヘルシンキコンペティションは世界の名だたる建築家が参加する国際コンペティションです。学生が参加するには難度の高いコンペティションですが、学生時代に世界の建築家と肩を並べ戦うことは良い経験になります。もう1つの活動として、年末に行われる国際ワークショップです。昨年はスペインから建築家 Enric Massip-Bosch 氏をお招きし、ワークショップを行いました。約2週間かけて行うワークショップ期間中のプレゼンテーションは全て英語です。英語のプレゼン力を鍛え、国際的な建築家を肌で感じる良い機会です。本年度は9月にアルゼンチン - チリに出向き、12月にはオーストリアから Ernst Beneder 氏をお招きしてワークショップを行う予定です。

国内の活動としては茨城町 WS とコンペで最優秀賞を受賞して始まった富士吉田プロジェクトは本年度も引き続き活動しています。茨城町の方は廃校となった小学校を、富士吉田では使われなくなった製氷工場の有効活用を地域の方々と一緒になって考えています。2つのプロジェクトに共通している背景として過疎や

少子高齢化があり、この問題は地方都市の多くが抱える問題です。そういった問題に建築家として何ができるかを考えることは非常に意義深いことだと思います。

これらの活動に加えて坂牛研究室では毎週輪読ゼミ、1時間設計ゼミを行っています。いつも忙しく誰かが研究室にいるのは変わらず毎日賑やかに過ごしています。
(佐河雄介：坂牛研究室嘱託補手)



坂牛研 みんなでご飯

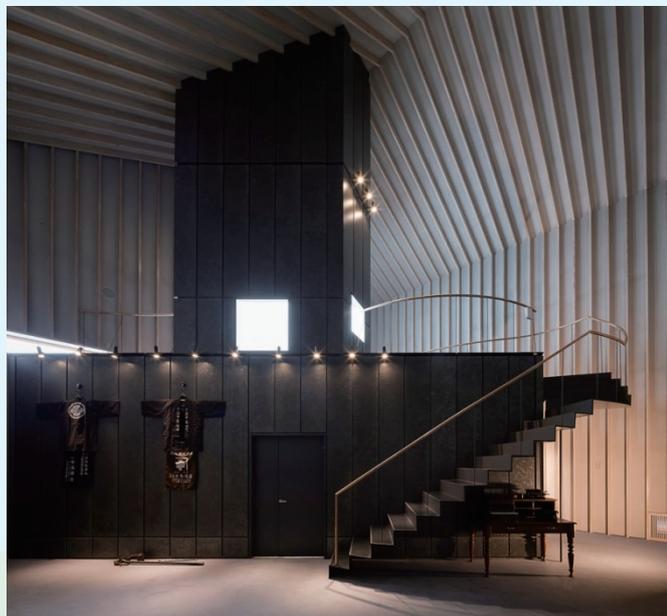
- 4～5月：湯河原プロジェクト
- 6～7月：茨城町 WS
- 8～9月：グッゲンハイムヘルシンキコンペ参加 (通過)
- 10月：茨城町 WS
- 11月：富士吉田地域デザインコンペ1次参加
- 12月：国際ワークショップ
- 1月：茨城町 WS、富士吉田地域デザインコンペ2次参加 (最優秀賞)
- 2～3月：富士吉田プロジェクト

International Architecture Awards 2015

(国際建築賞 2015)

シカゴの建築・デザインミュージアムとヨーロッパ建築アートデザインセンターが共同主宰している建築関連における世界的な賞。

受賞対象：松の木のあるギャラリーの設計



坂牛卓教授略歴：

- 1983年 東京工業大学工学部建築学科卒業
- 1985年 UCLA 大学院建築都市計画学部修士課程修了
- 1986年 東京工業大学大学院修士課程修了
- 1986年 日建設計入社
- 1998年 O.F.D.A.associates 設立
- 2005年 信州大学工学部社会開発工学科建築コース准教授
- 2007年 信州大学にて博士（工学）取得
- 2009年 信州大学工学部社会開発工学科建築コース教授
- 2011年 東京理科大学工学部第二部建築学科教授着任

新任教員紹介

私たち葛飾キャンパスにいます

高橋 治 工学部第I部建築学科教授



略歴

- ・1967年3月生まれ
- ・東京都出身
- ・1991年東京理科大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了
- ・同年 構造計画研究所入社
- ・執行役員・技師長 品質保証センター副センター長を経て、今年

4月東京理科大学教授に就任。

- ・構造設計一級建築士 建築構造士 博士(工学)
- ・日本建築学会 構造委員会・仮設構造運営委員会「期限付き建築構造性能委員会」委員、日本 ERI および東京検査機構の耐震診断・耐震改修判定委員。
- ・2012年三次元免震システムの開発と阿佐ヶ谷「知粋館」への適用で、日本建築学会 学会賞(技術)及び日本免震構造協会 協会賞(技術賞)を受賞。

【第I部建築学科 新任助教・補手】



石山さつき(助教) 2005年慶應義塾大学大学院修士課程修了後に渡仏。2006年仏国立土木高等学校(ボンゼシヨセ)の都市計画専門マスターを修了しパリの建築設計・都市デザイン事務所です実務経験をつみました。



岩澤浩一(助教) 2003年北海道工業大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了。建築設計の実務を12年程経てこの4月より助教に着任しました。主な担当は設計演習です。宜しくお願い致します。



何佳(助教) 東京大学大学院博士課程修了、博士(工学)、建築熱環境・建築設備を専門としています。趣味は料理作り等です。宜しくお願いします。



金南昔(助教) 東北大学大学院工学研究科修了、博士(工学)。専門は耐風工学で、特に風力による風応答および耐風設計を研究の対象としてきました。最近取り組んでいる研究は、風速が建物の振動特性に及ぼす影響などです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



高佳音(助教) オレゴン大学建築学科卒業、クランブルック・アカデミー・オブ・アート修士課程修了、東京大学大学院博士課程修了、博士(工学)。10年間アメリカに住んでいました。本年度より設計助教になりました。宜しくお願いします。



ます。

藤井健史(助教) 滋賀生まれ滋賀育ちの関西人です。前職は立命館大学助手で、30にして上京。研究室に関西弁をうつそうと奮闘中。音楽が趣味でバンドやっています。専門は都市空間解析・建築設計です。宜しくお願いします。



荒井圭子(補手) 2015年度東京理科大学大学院修士課程修了。4月から佐々木研究室の補手をさせていただいています。建築材料分野における収縮の挙動と低減を研究課題としております。宜しくお願い致します。



磯部孝行(補手) 2008年東京理科大学工学部建築学科卒、2015年東京大学新領域創成科学研究科博士課程修了見込、修士(環境学)専門:建築生産(資源循環)。本年度、熊谷研の補手になりました。宜しくお願いします。



伊藤孝仁(補手) 東京理科大学工学部建築学科卒(2010年)、横浜国立大学大学院Y-GSA修士課程修了。横浜を拠点に「tomitoarchitecture」として建築設計活動をしています。庭と蔵のある古民家を利用した事務所が自慢です。

【第II部建築学科 新任助教・補手】



常山未央(助教) 2005年東京理科大学工学部第二部卒業、スイス連邦工科大学ローザンヌ校修士課程修了後、現地事務所勤務を経て帰国し、2012年 mnm 東京設立。山名研、栢木研を経て今年度よりII部設計助教となりました。宜しくお願いします。



稲山貴則(補手) 2005年東京理科大学工学部第一部建築学科卒業(伊藤研)。10年ぶりに理科大に戻って来ました。約10年間の設計事務所での経験を生かし学生と接していきたいと思っております。宜しくお願いします。



葛飾キャンパスのアート作品
「集光-2013」 上別府 志郎



OBOG 交流会兼新人歓迎会

日本設計は1967年に開設した比較的新しい組織設計事務所ですが、様々な分野で多くの理科大 OBOG が活躍しています。

実は、日本設計に東京理科大学出身者の交流会はここ数十年位ずっとありませんでした。私が入社する際も、リクルート活動を通じて知り合った先輩社員の話聞いて志望を決めましたが、入社後も総勢何名の OBOG がいるのか不明なままでした。そこで、入社7年目の私と4年目の瀧澤君（理工学部出身）と共同で3人の東京理科大学出身の新入社員が入社した2015年、会社の協力を得て正式に名簿を作成し、理科大の同窓会も兼ねて、新入社員歓迎会を企画・開催しました。名簿を作成して驚いたのは、総勢45名もの社員が理科大出身者でした。この情報を OBOG の方にお知らせすると、驚きと感謝の言葉を頂きました。皆、つながりができることに嬉しさを感じて下さったと

思うと私も嬉しく感じました。約半数の方に出席頂いた新人歓迎会は、初めて交流する方たちもいましたが、意匠・構造・設備等各セクションの意見交換もできて、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

理科大学の評価

東京理科大学から日本設計への新入社員は、毎年1人いるかないかという程度です。今年は意匠設計2名、コスト設計1名と合計3名の理科大 OB が入社するという珍しい年となり、いっそう若返りができました。会社からみた理科大生は、真面目に取り組む姿勢と良い発想を論理的に説明・提案できる力を持っていると高評価を受けている印象があります。就活時にリクルーターとして相談に乗っていた彼らが入社することは個人的にとっても嬉しく、今後の活躍を期待したいと思います。

働きやすさを感じる — 日本設計の特徴

日本設計の特徴として、役職があっても「〇〇さん」と呼び、突然廊下で執行役員に出身地について雑談を持ち掛けられるなど、上下関係を堅苦しく

捉えない人たちの集まりであることが挙げられます。プロジェクトチームの中でも若手も意見を言いやすい雰囲気があります。また、女性が比較的多く働きやすい組織設計事務所であるとも言えます。出産・子育てを経て活躍されている OG の方もおり、女性の私にとってお手本がいる安心感があります。しかし、働き続けるには会社に頼るのではなく意思を持つこと、時には内側から変えていく力が必要になることもわかりました。多様な働き方が認められつつある現代、設計事務所やゼネコンなど建築業界に就職する女性で意思の弱い人はほとんどいないと思いますが、いつか女性の同窓の交流会ができれば良いと思う昨今です。

最後に、今年の会の開催を機に、日本設計の中で気軽に相談できる同窓のネットワークが広く構築されることを願っています。また、今後も母校の発展を願いつつ、母校との交流も積極的に参加していきたいと思っています。

(濱本理紗：2007年 | 部建築学科卒)



回転貫入鋼管杭ジ-ェクス-パイル

G-ECS PILE®

OB 多数、求むニューフェイス。

昭和48年工学部建築学科 代表取締役 三輪 富成 専務取締役 小川ひろし

基礎杭に、
新たな価値を創造する。

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル3F
TEL 03-3639-5226 FAX 03-3639-8162

北海道営業所：Tel.011-252-2556	中部営業所：Tel.052-203-8551
東北営業所：Tel.022-217-8105	西日本支店：Tel.06-6233-7300
新潟営業所：Tel.025-242-2180	中四国出張所：Tel.082-568-1310
北陸出張所：Tel.076-231-0750	九州営業所：Tel.092-433-5833
東日本支店：Tel.048-813-6612	沖縄営業所：Tel.098-860-3700
茨城営業所：Tel.0296-70-5015	
千葉出張所：Tel.043-302-7080	
神奈川出張所：Tel.045-263-1625	

株式会社 **三 誠**
SANSEI INC.

都会を離れて 自然に囲まれた生活を enjoy する

- 工学部建築学科 6 期卒藤森氏宅を訪ねて -

転居の経緯

日本設計を退職され、山梨の古民家に移られた藤森氏宅を去る 8 月 11 日に訪問した。場所は、山梨県北杜市明野町、のどかな田園風景が広がる雄大な農村地帯である。藤森氏は、定年後の住処として都会を離れた場所に暮らしたいという憧れがあり、6 年前この地に古民家を見つけ、450 坪の土地と、古い建物を購入した。

ただそこは大小の建家が、7 棟あるものの古いものは築 100 年ほど経っており、そのままではとても住めない状態であった為、まず養蚕小屋として使用していた建物を、工作室と住まいに改装し、そこに



母屋（大正 9 年）エントランス、奥にガレージ棟

寝泊まりし母屋の改築工事を行った。ほぼ改築が終わった 2 年前に奥様と引越しされ、現在も母屋を含め、他の棟とともに改築、模様替え等進行中である。この地を選んだ理由としては、自分の手で物を組立て、作り上げることが好きだったことと、その為の工房となるスペースがあったことが決め手となったようだ。

改築工事と現況

現在では、近隣の住人達共、十分に溶け込んで、54 世帯でつくられた地域社会で不自由なく暮らしているようだ。様々な物



藤森氏のセンスが光る母屋の室内

づくりを継続して行っている場所は、銀杏工房と呼ばれ、改築はほぼご自分で実施されているが、解体工事、構造補強や屋根工事などに関しては、業者に頼んでやっている。また、土地柄、冬は零下になることもあり、断熱、暖房に関しては様々な工夫を凝らし、照明などの電気工事はほとんどご自分の設計施工で行われている。

(渡辺一男 : 1972 年 I 部建築学科卒)

藤森氏コメント 古民家自カリノベーション



銀杏工房棟（元養蚕小屋）、左奥に母屋



工房内で作業する藤森氏

山梨県の北杜市に元養蚕農家の古家（最古の母屋が大正 9 年、土蔵が昭和 5 年、最も新しい養蚕小屋で昭和 40 年代など計 7 棟）を買い小屋の一つを工房にした。隣に黄葉がきれいな大銀杏があり触発されて銀杏の苗を植えた。大きく育てと願いそれにちなんで「銀杏工房」と名付けた。当面の目標はこれら古家の再生だが現在まだ途上にある。古民家自力再生を始めた動機が 2 つある。

その 1 東京生まれの東京育ちつまり田舎がない。学生の頃、夏休みなど友人たちの帰省が羨ましく、

バイトしてその金で各地の友人らをその故郷を訪ね歩いたりした。その頃から田舎は自分で創るしかないと考えていた。

その 2 設計事務所に勤務し社会の為に働いてきたという自負がある。建築はもの作りがたくて志した道ではあるが歳と共にマネジメントの割合が大きくなるのは止むを得ない。

そこで定年後は本来やりたかったもの作りに浸りたいと考え自力での古民家リノベーションを目指すことにした。

(藤森正純 : 1971 年 I 部建築学科卒)

決算報告

平成 26 年度 (H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31) 築理会決算報告

収入の部			
部門	摘要	金額	備考
繰越金	平成25年度繰越金	3,102,700	
築理会会費合計	3,500円×227名 30,000円×16名 2,000円×5名	794,500 480,000 10,000	
広告収入	名簿・会報春・秋	879,120	
一般寄付		84,500	
その他	銀行利息	68	
余剰金	新年会・懇親会	37,435	
総収入		5,388,323	

支出の部			
部門	摘要	金額	備考
会報	春号	863,903	
	秋号	257,663	
名簿	印刷・発送費	784,000	
ホームページ維持費		168,000	
事務費		245,020	
運営費		33,563	
築理会賞		40,000	
会報編集費		40,000	
りぼん買い取り	100部	100,000	総会時配布
りぼん制作支援		0	
来年度繰越金		2,856,174	
総支出		5,388,323	

平成 27 年会費納入のお願い

現在、平成 27 年度の会費の納入をお願いしております。

同封の振込用紙にて、お振り込み下さい。

今後のさらなる築理会発展のため、多くの方のご協力をお願いします。

年会費 3,500 円

加入者名 築理会

口座番号 郵便局 00110 - 5 - 171952

築理会のホームページをご覧ください

築理会 - 東京理科大学工学部建築学科同窓会ホームページ

<http://www.chikurikai.org/>

築理会会報のバックナンバー、改正した築理会会則、イベントの詳細情報などがご覧になれます。

インフォメーション

* OB・OG と学生との交流懇親会

- ・ 11/22 (日) 葛飾キャンパス
- ・ 前半は 6 人のパネリストから学生に語る
- ・ 後半は教員・学生含めての懇親会
これには OB・OG、参加大歓迎

* 築理会新年会

- ・ 2016, 1/20 (水) 18:30 ~ 20:30
- ・ PORTA 神楽坂 6 階 理窓会倶楽部
- ・ 会費：3,000 円
- ・ 今年は野田建築会と共催

* 平成 28 年度築理会総会・懇親会

- ・ 2016, 5/28 (土)
- ・ 森戸記念館地下ホール (神楽坂)

詳細は築理会ホームページをご覧ください

* 中西繁個展「廃虚と再生」 in New York



- 第 1 会場 (2015, 12/14 ~ 12/19)
TENRI CULTURAL INSTITUTE
of New York
- 第 2 会場 (2015, 12/14 ~ 12/20)
THE BRONXMUSEUM of THE ARTS

中西繁 (1969 年卒)

